



『アドラー

性格を変える心理学』

岸見 一郎 著

NHK 出版 2021 年

『逆ソクラテス』

伊坂 幸太郎 著

集英社 2020 年

寒い日が続き、今年も終わりを迎えようとしています。

来年ももっと本に触れられるように、年明けをきっかけに新しいジャンルの本を探してみるのはいかがでしょうか！

今回は冬休み前特別号として、全校の皆さんにお配りします。

新着図書紹介

性格を変えれば、人生は変わる

この本では、心理学者アルフレッド・アドラーの言葉を軸に「性格をどう見るか」「どうすれば性格は変えられるか」についてかかれています。様々な性格の特徴や改善点などが詳しく解説されているので、自分の個性の再発見がしたい、性格を見つめ直したいと思っている人は、ぜひ読んでみてください。

敵は、先入観だ

教師の先入観に子供が立ち向かう「逆ソクラテス」をはじめとした、小学生が主人公の短編が5つ収録されています。読みやすい文体でありながら、様々な価値観について考えさせてくれる1冊です。

12 月中は、1人5冊まで借りられます

返却期限は、年明け 1/11(火)です
年末年始の休館:12/28(火)~1/3(月)
それ以外の日は、平日 10:20~16:50 まで開いています

館内の展示

- ・このミステリーがすごい
- ・どっぷり浸かるファンタジー
- ・心にしみいる詩歌の世界
- ・映画・テレビの原作本
- ・手芸・工作にチャレンジ！
- ・大学生活・一人暮らしをイメージしよう
- ・心に潤い・・・恋愛小説



ほか

図書館からのクリスマスプレゼント！

「本のお楽しみギフト」を

借りてみませんか？

「心がおどるミステリー」

「おなかの底からあったまる」

「最後に感動！！」

「青春ミステリー 2 種」

「常識にとらわれない」

「日常に潜む罠」

「寝る前に読みたい」

「化学のおもしろさ！！」

「ふしぎな読書」

などなど



図書委員や学校司書の
オススメ 2~3 冊入り。
何が入っているかは、
借りてからの楽しみ！

文庫で読める名作文学コーナーをリニューアルしました！

約 100 冊の名作文庫本を新たに加えました。美しい挿絵と共に日本の名作が読める、「乙女の本棚シリーズ」も順次加えていく予定です。童話、児童文学、ミステリー、恋愛小説、歴史小説、戯作など、多彩な作品を、読みやすい新訳で楽しめます。書き出しの一文とともにその一部をご紹介します。



『晩年』 太宰治著 新潮文庫 2005 年

死のうと思っていた。ことしの正月、よそから着物を一反もらった。お年玉としてである。着物の布地は麻であった。鼠色のこまかい縞目が織りこめられていた。これは夏に着る着物であろう。夏まで生きていようと思った。

(「葉」より)

『眠れる森の美女 シャルル・ペロー童話集』 シャルル・ペロー著 村松潔訳 新潮文庫 2016 年

むかし、王様とお妃様がありました。こどもがひとりもいないことをとても残念に思っていて、それこそ言葉では言い表せないほど残念がっていました。

『海底二万里』ジュール・ヴェルヌ著 村松潔訳 新潮文庫 2012 年

紀元一八六六年にはある奇妙な出来事が起こった。わけのわからない、説明しようのない現象だったので、いまでもだれひとり忘れていないにちがいない。

『ロミオとジュリエット』シェイクスピア著 中野好夫訳 2010 年

サムソン：グレゴリ、われわれもう虫を殺すのは真平だぞ。
グレゴリ：そうとも、それこそとんだ虫殺しというもんだからな。

(第 1 幕より)

『変身』カフカ著 高橋義孝訳 新潮文庫 2011 年

ある朝、グレーゴル・ザムザがなにか気がかりな夢から目をさますと、自分が寢床の中で一匹の巨大な虫に変っているのを発見した。

『灯台へ』ヴァージニア・ウルフ著 御輿哲也訳 岩波文庫 2004 年

「そう、もちろんよ、もし明日が晴れたらばね」とラムジー夫人は言って、つけ足した。「でも、ヒバリさんと同じくらい早起しなきゃだめよ」

『戦う操縦士』サン＝テグジュペリ著 鈴木雅生訳 光文社古典新訳文庫 2018 年

きっと夢を見ているのだろう。私は学院にいる。いつの間にか一五歳に戻って、辛抱強く幾何学の問題を解いている。

『オペラ座の怪人』ガストン・ルルー著 三輪秀彦訳 創元推理文庫 1987 年

オペラ座の幽霊は存在していた。それは決して、長らく信じられていたように、芸術家たちの靈感、支配人たちの迷信、あのバレエ団のお嬢さんたちやその母親たち、案内嬢たち、クローク係や門番たちの興奮した脳みそといったもののぱっとしない産物ではなかったのだ。

(序文より)

今号は 2 年生 2 人が担当しました
みなさんよいお年を！

